

ソリューション名 FortiSASE

SCSKと実現するテレワーク環境のセキュリティ保護

テレワーク環境のセキュリティ対策は万全ですか？

テレワーク環境のセキュリティホールからマルウェアに感染するなどのリスクが潜んでいます。感染すれば重要な機密データが漏洩してしまう可能性も…。

FortiSASEはいつでもどこでも接続できるネットワークの最適化と、接続の安全性を確保するネットワークセキュリティを一つのプラットフォームとして提供します。

リモートアクセスの課題となっていたアクセス負荷の軽減とセキュリティ強化を両立する、ゼロトラスト時代のセキュリティ対策です。

2022年 情報セキュリティの脅威ランキング	
1位	ランサムウェアによる被害
4位	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃
5位	内部不正による情報漏えい
9位	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止
10位	不注意による情報漏えい等の被害

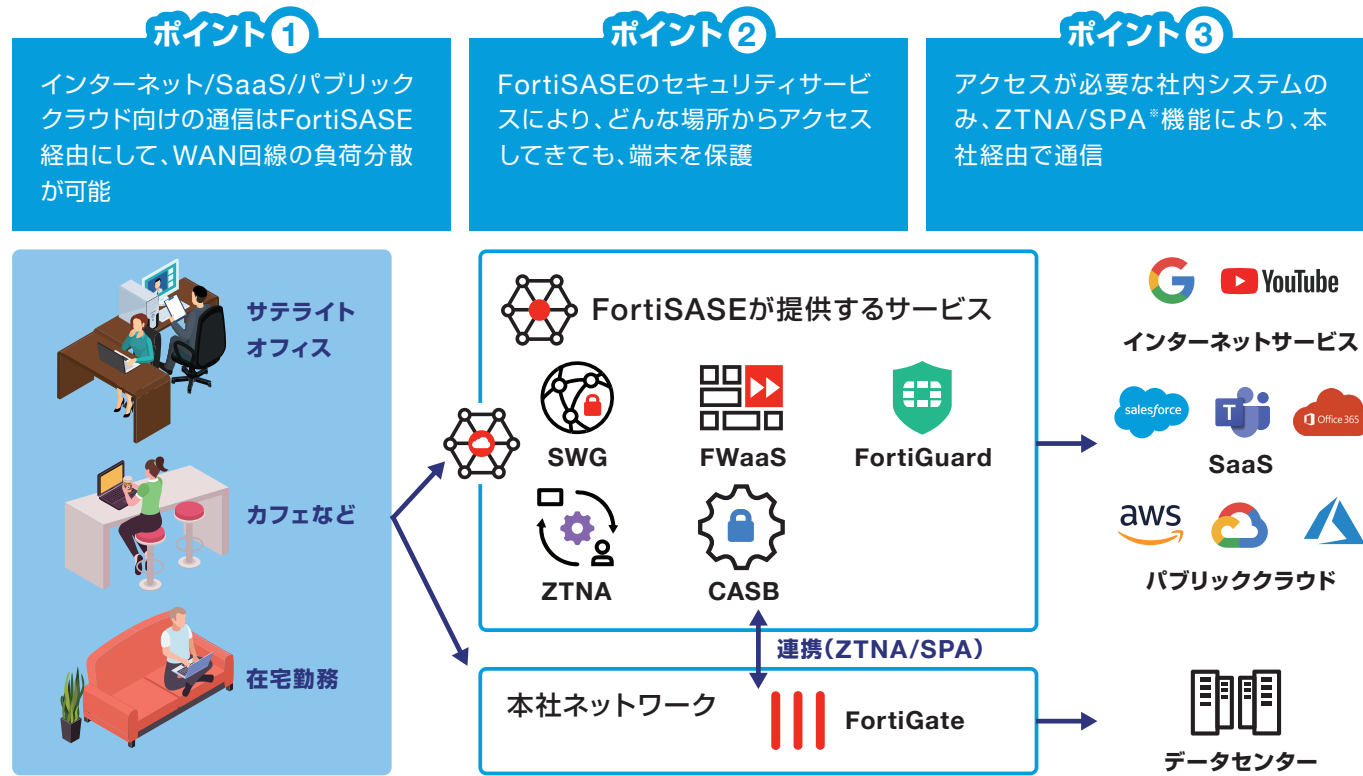
FortiSASE 概要

柔軟なアクセス
エージェント(FortiClient)/エージェントレス(プロキシ)に対応

WAN回線の負荷分散
インターネットやSaaS、パブリッククラウド等の通信をFortiSASE経由にして、企業内の帯域逼迫を回避

迅速&容易な導入
クラウドベースのため、年額課金のライセンスをご購入いただくだけで、すぐに導入できます

エンタープライズレベルのセキュリティ
FortiGuardによるUTM機能やFWaaS、SWG/ZTNA/CASB等のセキュリティサービス



* ZTNA = Zero Trust Network Access / SPA = Secure Private Access